

建築行政共用データベースシステム連絡協議会第6回総会 議事録(案)

1. 開催日時 平成 21 年 4 月 27 日(月)午後 3 時 50 分から午後 4 時 50 分まで
2. 開催場所 明治記念館 2階 蓬莱
3. 配布資料
議事次第
冊子(1)
【資料1】 前回(第5回)総会議事録(案)(平成21年11月7日開催)
【資料2】 各サブシステムの検討状況等について
【資料3】 利用意向に関するアンケート調査報告書
【資料4】 質疑・要望の送付方法について
【参考】建築行政共用データベースシステム連絡協議会会則
冊子(2)
【資料5】 利用料について
【資料6】 運営経費負担の考え方
【資料7】 動作環境について
【資料8】 導入促進策について
(別添) 建築行政共用データベースシステムの概要(パンフレット)
道路情報登録閲覧システム(パンフレット)
ICBA 情報会員制度(パンフレット)
Webinar(パンフレット)
4. 出席者
国土交通省住宅局、連絡協議会会員
5. 次第
(1)開会
事務局 椋 周二(財団法人建築行政情報センター専務理事)から、会員数419、定足数210、に対し、出席者数177、及び委任状154、計331により、総会が成立していることを確認し、開会が宣言された。

(2)会長挨拶
東京都都市整備局 福島 七郎 技監から挨拶があった。
福島会長からのご挨拶
建築行政共用データベースシステム連絡協議会総会も設立から3年目を迎え、データベースの開発も残すところあと1年となっている。その間、会員である皆様からご意見をいただきながらシステム開発を進めてきた。その結果として、今年度4月1日から建築士・事務所登録閲覧システムの本格稼働を開始することができた。本日は、残るデータベースシステム

の開発状況とともに、平成 22 年度以降の利用料についての説明を通して、よりシステムに関する理解を深めて頂きたい。

(3) 国土交通省挨拶

国土交通省住宅局 井上建築指導課長から挨拶があった。

井上 課長からのご挨拶

建築行政共用データベースシステムについて、皆様にご理解いただいていること、大変感謝している。

社会資本整備審議会において建築行政マネージメントの効率的な国のあり方について検討を始めている。効率化とは、基準の明確化、現場での判断の明確化等、ほかに定期報告などいろいろなテーマがある。行政としては、規則を作り、その経過を検討し、問題があれば注意喚起を行い、これを直し、見届けることが当然の業務である。日本の仕組みは往々にして、初めは熱心だが終わりがはっきりできていない。初めに手間を掛けるとそこでオーバーフローとなり、終わりまで手が回らないからであるが、初めをおろそかにもできない。その観点で考えたときに、建築行政として第一歩の転換を図ったものが、確認・検査の民間開放だった。これで全国の建築行政に携わる実人力は倍増しているから、間違いなくマンパワーが増えるという意味で大きな転換だった。一方で、これをまた今後も増員で展開していくのか。当然やるべきことはやらなければならないが、限界もある。

これを解いて、マネージメントを効率化できるのは、この建築行政共用データベースしかない。最終的には国費や皆様方の負担も入るが、これをプラットフォームにして、建築行政の今後のマネージメントを考えていくという方向性で、いろんな形でご活用いただきたい。

国土交通省住宅局 橋本市街地建築課長から挨拶があった。

橋本 課長からのご挨拶

建築の紛争で一番多いものは、8 割方が道路に関するものである。ご承知のとおり、今回の建築行政共用データベースの中に道路情報に関してデータベースを新しく構築しており、これが世の中の紛争を減らすこと、何より皆様方の手間を減らすことを最大の願いとしている。相当程度いいものができているとのことだが、更にご議論いただいてよりいいものにしていただき、皆様のお仕事にお役立ていただきたい。

(4) 議事

議事 各サブシステムの検討状況等について

事務局 久保（財団法人建築行政情報センター企画部企画課長）より、冊子 1 資料 2（P8～P21）に基づき、各サブシステムの検討状況について及び、冊子 1 資料 3（P23～P31）利用意向に関するアンケート調査について説明が行われた。

議事 利用料の検討状況について、議事 普及促進策について

事務局 伊藤（財団法人建築行政情報センター企画部長）より、冊子 2 資料 5（P3～P13）、資料 6（P15）、資料 7（P17～P18）に基づき、利用料の検討状況について及び、冊子 2 資料 8（P19）に基づき、共用データベースシステムの普及促進策等についての説明が行われた。

(5) 質疑応答

質疑応答及びシステムへの要望は出なかった。

(6) 事務局挨拶

財団法人建築行政情報センター 那珂 正 理事長から挨拶があった。

那珂 理事長からの挨拶

本日のテーマの、建築行政共用データベースシステムの開発については、2年前から行っている。この間、当協議会や並行して行われている開発委員会を通じ、協議会の皆様方、各関係の多くの方にご協力いただき、ご意見も随時受けつけ、開発を進めてきた。また、その間、国土交通省からは多大なるご指導、ご支援をいただき、順調に開発が進んでいる。皆様方には改めて御礼申し上げる次第である。

また、利用料についても、いろいろな課題があるが、合理性、公平性を確保しつつ、より多くの機関にご利用していただけるよう、料金設定の考え方をまとめてきたつもりである。何かと建築行政に対する世間の注目が集まる時代になったが、この建築行政共用データベースシステムの開発の意義、より一層的確な、より一層円滑な建築行政が行われるよう、その基となるプラットフォームを皆で構築するということの意義を改めて皆様方にご理解いただきたい。そして、システムへの参加、および利用料等の予算措置等の準備等、皆様方のなお一層のご協力をお願いする次第である。

(7) 閉会

以上